

新しく伊貝秀一 副市長が

就任しました



プロフィール

- ◆佐渡市両津地区出身
(生まれも育ちも佐渡)
- ◆昭和30年6月17日生 64歳
- ◆法政大学法学部卒
- ◆昭和54年に旧両津市採用。両津市企画財政課長補佐や佐渡市財務課長を歴任し、平成27年に佐渡市を退職。

◆好きな食べ物は？

これといって特にありませんが、嫌いな食べ物はきゅうり、メロンなど瓜系が苦手です。

◆今、ハマっていることは？

佐渡にしかない国字*文化である、魷(すけと)や蛸(あわび)、碓(がためき)など、早稲田大学の笹原教授の指導を受けながら調べることです。

*日本独自につくられた和製漢字のこと。

◆座右の銘は？

「人にして信なくんば、其の可なるを知らざるなり」(論語)

(意味) 人としての信義がなければ、うまくやっていくことはできない。

◆愛読書は？

面白いのは池波「剣客商売」。佐渡の先人の生活を知るには、名著「佐渡びとの一生」(浜口一夫先生)です。

■自己紹介をお願いします

歴史ある夷七の丁鬼組で鬼太鼓を舞いながら育ちました。表玄関両津の繁栄や今に至る地域の衰退を目の当たりにしてきました。

■副市長に任命されたお気持ちを教えてください

職員時代のポストは財政関係が多かったですが、予算査定などの場面で迷ったときの最後の判断は「これは佐渡市のためになるのか」という自問自答の繰り返しでした。

副市長に任命された今の気持ちもまったく同じで、常にこの自分への問いかけを改めて続けるしかないと思っています。

■佐渡が抱える課題とその解決に向けた考えをお聞かせください

現在の全国共通的な施策・政策はもちろん重要です。加えて離島佐渡特有の課題も抱えています。

年を重ねて思うことは、モノのない時代でも幸福感があったのは、佐渡らしい集落の連帯感やこまやかな人情や優しさではなかったかと思えます。

遠回りに見えても佐渡らしい教育が何より大事だと思います。

■佐渡のおすすめスポットを教えてください

佐渡はパワースポットの島だと思っています。大野亀頂上のほこら、賽の河原、ムジナの親分二ツ岩団三郎をまつた二ツ岩さん、韃靼人の墓、石工の作ともいわれる八十八仏が圧巻の岩屋洞窟などきりがなくくらいいです。

ほかにも、街中などでお年寄りの会話に耳を傾けると忘れかけた佐渡方言での昔話に新鮮な発見があります。

■これからの意気込みを教えてください

私の役目は、パワーあふれる渡辺市長をしっかり支えることです。佐渡市を退職してからの5年間の市民視線を忘れず、多くの職員の力を合わせて右手で市長を押し上げながら、左手で市長の袖をつかみながら進んでいきたいと思っています。

■市民の皆さまへ一言

微力ながら全力を尽くす所存です。お気付きの点など教えていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

